

ニセコ山系 前目国内岳（981m）

（3月会山行）

実施日：平成28年3月13日（日）

参加者：西田（芳）CL、澤田、石井、後藤、谷、渡邊
笹山、山岸、永宮、藤木（た）、西田（昌）、太田
本野、近藤、・・・14名

行程：駐車場発；8時30分、道道268号大曲着；9時05分、630m地点小休止；9時35分、

頂上着；11時30分、730m付近昼食；12時0～12時40分、駐車場帰着；13時30分

伊達道の駅に11名が車3台に分乗、6時25分に蘭越町のコンビニに向け出発、豊浦新富経由で雪融けの道を待合いのコンビニまで車を駆ける。

蘭越セイコマにて札幌組3名と合流、新見温泉駐車場へ車4台を駆る。道路の雪は例年より少ない。駐車場着8時10分、満車状態で駐車に苦労する。



支度を終え、準備体操後、A班を先頭に8時30分登山開始、今日は14名全員山スキー、天気はまずまず。



道道286号線をトールスを辿り、14名が一行になってスキーを漕ぐ。今日は体調もまあまあだ。

大曲の渡渉地点に9時0分到着、新見の川沢の支流、渡れるかを調査結果、少し上側を渡ることに決定。何方かテントを一張り張ってあった。前目国内岳か白樺か、または目国内岳に登るベースキャンプと思われる。

休憩を取り、一人ひとり慎重に渉る。

雪で沢底は完全に埋まっており何も問題なく安心して渉れた。



疎林の中を時にはジグを切って登る。雪質はまあまあ、シールの効きも良く、高度を稼ぐ。

650m付近で小休止、水分、エネルギーの補給。



10時10分頃850m付近に到着、斜面も少しきつくなり、雪もちらついて来た。



西風も強く、吹雪模様、迷子にならないよう互いに確認しながら、リーダーを先頭に前目国内岳を目指し、懸命にスキーを漕ぐ。

フードを被り防寒対処でひたすら前方を目指す・撤退もありだが、向かい風でホワイトアウトの中を引き返すのも問題あり、風当たりの少ない新見峠付近の鞍部に下りた方を選択。

吹雪の合間に頂上の姿を開き見え、勢い就く。

11時30分、乳白色の前目国内岳（981m）の頂上に立つ。



早々に記念写真を撮り、シールを付けたまま下山する。久振りのホワイトアウト、方向感覚が失われる、コンパスを頼りにリーダーを先頭に慎重に下る。思いの他滑る。

900m位に下がると灌木が目に入り一安心する。全員の無事を確認、風の無い鞍部でシールを外し、一息就く。ほぼ南に向けB班を先頭に疎林のゲレンデを各自シュプールを描き天場まで滑下する、私は安全第一で大回りしながら滑る。雪質は表面下6～7cmクラスト状態だが滑りに全く問題無し。

730m付近にツエルトを張り昼餉を採る
14名が詰め合い、暖かいストーブで楽しい食事会をする、（12時0分～12時35分）
全員で会旗を中心にハイポーズ。



12時40分天場を後に、A班を先頭に渡渉地を目指し滑走する。13時頃渡渉地の上に到着、慎重に沢を超える。そこから約10mの尾根に階段登りがキツくゼイゼイと息も荒く、顎後出す。バンドで3箇所も固

定すれば良かったと後で反省する。

13時27分道路の上に到着、ヤレヤレだ、ご苦労さん。



後は道路のトレス跡をひたすら駐車場に下がるのみ、スキーは楽しんだ。駐車場着13時40分、皆さん一人の怪我も無く下山出来、オメデトウ。ご苦労さんでした。札幌組3名と別れ、11名は名残の温泉に浸かり、疲れを癒した。

御かみさんの心こもった豚汁の供应を受け、3月一杯で旅館を閉鎖すること、胸が一杯だ、長い間有難うございました、豚汁美味かったです、ご馳走さまでした。御かみさんの見送りを受け帰途に就く。

伊達で15時30分頃解散、それぞれ帰路に就く。今回の冬山登山でリーダーの責任ある行動に敬意を表したい。各自、もし私がリーダーであったらと学ぶべき処が有った。参考にしてほしい。

全員無事下山出来、リーダー、サブリーダー、仲間感謝します。
記 近藤。;